

事業一覧表

施策の柱	事業の方針	事業	方策	スケジュール										活動指標	事業関連課	
				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37			
たのしむ	「自転車に健康に！心も体もリフレッシュ。」 「自転車のまちの魅力発信」	①自転車レース・イベントの開催	①-1 国際的サイクルレースの開催	継続推進										年1回の継続開催	スポーツイベント課	
			①-2 市民サイクルイベントの開催・支援	継続推進										イベント開催・支援数5回/年以上	スポーツ振興課、自転車まちづくり推進課、桜区コミュニティ課、西区コミュニティ課	
		②サイクリングコースの環境整備	②-1 レクリエーションルートの整備	調査・計画	継続推進										平成32年度までに整備	自転車まちづくり推進課
			②-2 サイクリングマップの作成	調査・作成・配布	継続推進										平成30年度までに、マップを作成	自転車まちづくり推進課
		③自転車のまちの魅力向上	③-1 自転車のまちの情報発信（ホームページ、SNS等の活用）、官民連携による企画検討	検討・整備	継続推進										平成29年度までに、情報発信サイトを開設	自転車まちづくり推進課、シティセールス部
			③-2 サイクルパークの設置	検討・調査	基本計画	実施計画	整備実施							検討結果を踏まえ、平成31年度までに、基本計画を策定	自転車まちづくり推進課、都市公園課	
		④コミュニティサイクル事業の推進	④-1 コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大	継続推進	継続推進										平成29年度までに、エリア拡大を実施	自転車まちづくり推進課
			④-2 コミュニティサイクルの車両多様化	検討・調査（導入）	継続推進										検討結果を踏まえ、平成30年度までに、車両多様化の導入	自転車まちづくり推進課、産業展開推進課
まもる	「悲しい事故をゼロに。」 「自転車の安全な利用」の推進	①交通安全教育の推進	①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施	継続推進										250回/年、2万人/年以上に対し、交通安全教室を実施	市民生活安全課	
			①-2 スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施	継続推進										全ての市立中・高等学校を対象に、3年間、交通安全教室を実施	健康教育課	
			①-3 子ども自転車運転免許制度	継続推進										全ての市立小学校を対象（原則として小学4年生）に、安全講習の開催、免許証の交付	健康教育課	
		②正しい自転車利用の啓発	②-1 ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置	調査	整備実施										自転車通行帯の整備と併せた、サイン設置（整備路線で実施）	道路環境課、市民生活安全課、自転車まちづくり推進課
			②-2 自転車保険加入、ヘルメット着用、自転車整備方法の周知・普及促進	継続推進										交通安全教室での周知、2万人/年以上	市民生活安全課、自転車まちづくり推進課	
			②-3 自転車安全利用の人材育成	継続推進										電動アシスト自転車の貸出し等と併せ、自転車利用模範推進員の任命（200人/年以上）	自転車まちづくり推進課	
			②-4 自転車安全利用に関する広報・啓発	継続推進										自転車安全利用啓発活動の実施1万3千人/年以上実施	市民生活安全課、くらし応援室、自転車まちづくり推進課	
			②-5 自転車安全利用に関する啓発	継続推進										自転車安全利用啓発活動の実施1万3千人/年以上実施	市民生活安全課、くらし応援室、自転車まちづくり推進課	
はしる	「快適な自転車ライフ」の実現	①自転車通行環境の整備	①-1 自転車ネットワーク路線の整備	継続推進										平成35年度までに、約200kmを整備	道路環境課、自転車まちづくり推進課	
			①-2 交差点等危険箇所の重点的な改善	継続推進										交差点等危険箇所の対策メニューの作成	道路環境課、自転車まちづくり推進課	
		②公共交通機関との連携	②-1 交通結節点の環境整備	検討・調査	連携事業実施										検討結果を踏まえ、平成31年度からバス・鉄道事業者との連携事業を実施	交通政策課、自転車まちづくり推進課
			③自転車利用の促進	③-1 サイクルサポート施設の認定・設置	調査・整備	継続推進										平成29年度までに、市内全域でサイクルサポート施設の開設
		③-2 電動アシスト付自転車等の利用啓発		継続推進										電動アシスト自転車貸出（200台/年）の実施	自転車まちづくり推進課、子育て支援政策課、高齢福祉課	
		③-3 自転車利用促進事業者認定制度の導入		検討・調査	（導入）										検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入	自転車まちづくり推進課
		③-4 自転車利用優遇制度の導入		検討・調査	（導入）										検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入	健康増進課、自転車まちづくり推進課
		とどめる	「モラルを保持して！ 「適正な駐輪」の推進	①駐輪場の利便性向上（利用しやすい）	①-1 駐輪場の適正配置の推進	検討・調査	整備推進									
①-2 民間事業者による駐輪場整備の支援	継続推進										民営自転車駐輪場の新設2箇所以上、300台以上	自転車まちづくり推進課				
①-3 駐車需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進	継続推進										附属義務条例及び設置基準に準じた、適正規模の使いやすい駐輪スペースの確保	自転車まちづくり推進課				
①-4 駐輪優遇制度の導入	検討・調査				（導入）										検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入	自転車まちづくり推進課
①-5 駐輪場の情報発信の充実	継続推進										案内システムのアクセス1万4千件/月以上	自転車まちづくり推進課				
①-6 利用者サービスの充実	継続推進										全市営駐輪場での、付加サービス機能の向上	自転車まちづくり推進課				
②放置自転車の解消	②-1 放置自転車対策（指導・撤去・啓発）の強化			継続推進										放置自転車台数調査毎年実施	自転車まちづくり推進課	
	②-2 放置自転車の活用			継続実施										開発途上国への年間120台/年の譲与	自転車まちづくり推進課	

（■：重点的に取り組む方策）

全11事業、全31の個別の方策

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p style="text-align: center;">たのしむ</p> <p>①自転車 レースイ ベントの開催</p>	<p>①-1 国際的サイクルレースの開催</p> <p>《事業概要》 スポーツの振興及びスポーツを活用し、地域の経済の活性化などを図ることを目的に、「ツール・ド・フランス サイたまクリテリウム」を開催します。</p> <p>《活動指標》 年1回の継続開催 《成果指標》 来場者数10万人以上 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>「J:COM presents 2016ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」を平成28年10月29日に開催。 当日は、10.1万人の来場。 経済波及効果は、約29億円。</p> 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 年1回の開催を継続。 《成果指標》 来場者数は、10.1万人。 《貢献目標》 第4回目となる大会を開催し、自転車のまちづくりの取組みの満足度向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>安定的なスポンサー確保や、市以外への実施主体移行に向けた検討を進めることが、事業継続への課題となっている。</p>
	<p>①-2 市民サイクルイベントの開催・支援</p> <p>《事業概要》 「自転車によるまちづくり」を市民に身近に感じてもらうことを目的に、市民参加型のサイクルイベントを開催・支援します。</p> <p>《活動指標》 イベント開催・支援数5回/年以上 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>○10月29日 サイクルフェスタ開催 場所：さいたま新都心地区 来場者 15,600人</p> <p>○12月3日・4日 秋ヶ瀬の森バイクロア 場所：秋ヶ瀬公園 参加者：1,355人 観客数：8,500人</p> <p>○12月11日 サクラチャリフェス 場所：レッズランド 参加者：1,200人</p> <p>○3月25日（予定） 西来るフェスタ 場所：大宮けんぽグラウンド</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 年4回の開催・支援を実施。 《貢献目標》 親子で参加可能な企画など、自転車の楽しさ、魅力を発信するとともに、自転車利用の安全意識の向上も図られ、自転車利用者の増加や、ルールの遵守・マナーの向上に寄与した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>開催場所の確保、関係団体との協力、事業の効果的な広報の仕方、屋外イベントのため天候の影響を受けやすいことなどが課題となっている。 また、サイクリスト向けに行うか、一般利用者を取り込んでいくかにより、イベント手法も変わってくる。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>たのしむ</p> <p>②サイクリングコースの環境整備</p>	<p>②-1 レクリエーションルートの整備</p> <p>《事業概要》 市内の豊かな自然や地域資源を活かして、サイクリングが楽しめるレクリエーションルートの設定を検討し、余暇のサイクリング環境の創出を図ります。</p> <p>《活動指標》平成32年度までに整備 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>【広域型レクリエーションルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインの設置場所や表示内容の検討。 ・河川管理者や、道路管理者との施工協議 <p>【市内回遊型レクリエーションルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査や交通量、事故発生状況の分析からルートを精査し、8つのルート案を作成した。 <p>また、周辺のおすすめスポットをルートに組み入れるなど、地域と連携しながら、ルート設定をすることで、まちの魅力向上や、サイクリングの快適性が高まるよう検討中。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》現地調査、関係者協議を実施 《貢献目標》—</p> <hr/> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>広域型ルートである、荒川サイクリングロードについては、堤防工事の影響で、本ルートでの整備までは、3年程度期間が必要。</p> <p>また、歩行者も通行可能なサイクリングロードであるため、快適な走行空間の確保と併せ、利用者のマナーを向上させていくことが課題。</p>
	<p>②-2 サイクリングマップの作成</p> <p>《事業概要》 サイクリングコースやサイクルサポート施設、観光施設の関連情報をまとめた、使いやすいマップの作成・配布を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までにマップを作成 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組 	<p>サイクリングマップの基本情報となる、レクリエーションルートの設定や、サイクルサポート施設の基準などについて検討した。</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》ルート、スポットの検討中 《貢献目標》—</p> <hr/> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>WEB版でのMAPを作成することで、多くの方が利用でき、最新情報への更新も可能になることから、WEB制作費、運営費などの予算確保や、効果的な情報発信の手法についての検討が必要となる。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>たのしむ</p> <p>③自転車の まちの魅力 向上</p>	<p>③-1 自転車のまちの情報発信、官民連携による企画検討</p> <p>《事業概要》 ホームページやSNS等を活用して、市の自転車関連情報を自転車関連団体等と連携しながら、“自転車のまち さいたま”の情報発信を検討します。</p> <p>《活動指標》平成29年度までに情報発信サイトを開設 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>平成28年度の取り組み</p> <p>市民、事業者・団体、行政が連携し、自転車施策に取り組んでいくため、平成29年1月に「さいたまはーと推進協議会」を設立、開催。 SNS等を活用した発信については、さいたま市のHP「Moving! Saitama City」の中で、クリテリウム編を制作。</p>  	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》情報発信サイト開設手法を検討中 《貢献目標》SNSを活用した発信を実施することで、情報提供や自転車のまちづくりの向上に寄与した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>市による、自転車に特化した情報発信サイトの開設に向けては、市民に対する多くの発信情報がある中で、優先順位を上げていくことが必要。 また、官民連携の取組に向けては、さいたまはーと推進協議会を中心に、関係者を増やしていく取組が必要。</p>
	<p>③-2 サイクルパークの設置</p> <p>《事業概要》 自転車の楽しさを日常的に体験できる場として、サイクルパークの設置や、既存施設を活用した自転車に親しめる環境創出を検討します。</p> <p>《活動指標》平成31年度までに基本計画を策定 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>サイクルパークの整備可能箇所など、実現可能性について検討中</p>  	<p>《活動指標》検討段階 《貢献目標》—</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>サイクルパークの整備内容として、交通公園や、競技場などが考えられるが、それぞれ利用ニーズや管理運営費用の面からも、実現に向けては、費用対効果も含めた、検証が必要となる。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>たのしむ</p> <p>④コミュニティサイクル事業の推進</p>	<p>④-1 コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大</p> <p>《事業概要》 大宮駅周辺エリア約3km圏で実施しているコミュニティサイクルについて、自転車利用の多い鉄道駅周辺に、ポートを増設し、移動円滑化、周遊を促します。また貸出しの需要に対応するよう、運営の活性化を図ります。</p> <p>《活動指標》平成29年度までにエリア拡大を実施 《成果指標》利用回数 30万回/年以上 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>平成25年から開始した、さいたま市コミュニティサイクルについては、大宮駅周辺を中心に、24ポート、自転車400台で運営中。本年の利用回数については、124,857回となっており、前年比25%増となっている。</p> <p>また、事業エリアの拡大については、平成27年度に設置した外部有識者委員会での検討結果を踏まえ、現在の運営事業者と協議を実施。エリア拡大によりポート増設については、自転車の配車費用の負担増もあり、収支の改善に繋がらない可能性が高く、引き続き検討中となっている。</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《成果指標》124,857台（H29.1月末時点） 《貢献目標》コミュニティサイクルの普及により、自転車利用者の増加と、自転車のまちとしての満足度に貢献する。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>事業運営の収支が厳しいことから、国の自転車施策の動向や、コミュニティサイクルの利用状況、収支状況を踏まえ、エリア拡大について、引き続き検討を行う。</p>
	<p>④-2 コミュニティサイクルの車両多様化</p> <p>《事業概要》 現在のコミュニティサイクルについては、多くの方に利用してもらえるよう、小径（20インチ）の自転車を採用していますが、幅広い用途の要望もあることから、車両の多様化を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までに車両多様化の導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【非接触充電システムの普及に向けた技術・製品情報発信支援】 平成28年6月 スマートコミュニティJapan2016 平成28年10月 2016サイクルフェスタ</p> <p>【非接触充電システムの普及に向けた技術・製品導入促進支援】 浦和美園マルチモビリティシェアリングで導入予定（平成29年3月、6台）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》非接触充電システム運用実績の獲得 《貢献目標》—</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>電動アシスト車コミュニティサイクルサービスの提供にあたって、非接触充電システムがサービス運用コスト低減につながる事が重要。</p>



進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図ることを目的として、事故率が高い学生や、死傷率が高い高齢者を中心に、交通安全教室を実施します。</p> <p>《活動指標》250回/年、2万人/年以上に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>（平成29年3月10日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生向け・・・168回、23,310人参加 高齢者向け・・・42回、1,509人参加（3月の開催予定3回あり） その他（保護者など）・・・43回、1,525人参加 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》253回、26,344人（H29.3.10現在） 《貢献目標》幅広い世代への交通安全教室の開催を行うことで、ルール遵守・マナーの向上に繋がるとともに、事故減少に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>引き続き、事業を推進する中で、高齢者向けの交通安全教室を拡大させる。</p>
	<p>①-2 スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 市内の中学生、高校生を対象に、スタントマンによる模擬の交通事故を見学し、「恐れ」を体感することで、交通安全意識の向上を図る、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教育を実施します。</p> <p>《活動指標》全ての市立中・高等学校を対象に3年間で実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>スケアード・ストレイト教育技法実施校数 ・18校（平成29年1月末現在）</p> 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》平成26年度～28年度で全校実施 《貢献目標》市立中・高等学校におけるスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施することで、生徒の交通安全に対する意識を高め、ルール遵守・マナーの向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>平成29年度以降、3年間で、全ての市立中・高等学校で実施予定。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①ー3 子ども自転車運転免許制度</p> <p>《事業概要》 自転車を利用する小学生に対して、早い時期から自転車の安全な乗り方を身に付けさせ、交通安全に対する意識を高め、児童の将来にわたる長期的な交通事故防止に資することを目的とし、安全講習を開催し、子ども自転車運転免許を交付します。</p> <p>《活動指標》全ての市立小学校で、講習の開催 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>全ての市立小学校を対象（原則として小学4年生）に、安全講習の開催、免許証の交付。 ・市立小学校 103校で開催</p> 	<p style="text-align: center;">各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》全ての市立小学校で、講習の開催 《貢献目標》全ての市立小学校を対象（原則として小学4年生）に、安全講習を開催し、免許証を交付することで、児童の交通安全に対する意識を高め、ルール遵守・マナーの向上に貢献した。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>小学生の自転車事故が、0件になるよう取組を継続。</p>
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②ー1ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置</p> <p>《事業概要》 「自転車二車両」という意識が低いことから、意識改善・啓発のために、自転車通行環境などの整備と併せ、ルール・マナー啓発に資するサインを設置します。</p> <p>《活動指標》自転車通行環境帯の整備と併せたサイン設置 《成果指標》ルル・マナーの改善、歩道走行台数3割減 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>各区において自転車の安全利用に係るルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置を実施した。 また、南区においては、自転車安全利用五則の看板等を作成し、武蔵浦和駅や南浦和駅周辺での自転車通行環境帯へのサイン設置を実施した。</p> 	<p style="text-align: center;">各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》6箇所 《貢献目標》自転車通行環境帯の整備と併せた、サインを設置を行うことで、安全利用の意識が高まりルール遵守・マナーの向上に貢献した。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>各区において、サイン設置を実施していく。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-2 自転車保険加入、ヘルメット着用、自転車整備方法の周知・普及促進</p> <p>《事業概要》 自転車保険の必要性、加入方法等の情報提供により、周知・普及を図るほか、児童へのヘルメット着用徹底や、高齢者への着用促進を図ります。また、普段からの自転車点検、整備方法に関する情報提供を行います。</p> <p>《活動指標》交通安全教室等での周知 2万人/年以上 《成果指標》自転車事故減少に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>交通安全教室や街頭啓発活動等において、正しい自転車利用の啓発を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》253回、26,344人（H29.3.10現在） 《貢献目標》自転車利用に係る安全な利用周知をすることで、安全性の意識向上に貢献した。</p> <p style="text-align: center;">事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>自転車保険の加入については、保険会社や自転車店との連携も図りながら、必要性の周知と併せ、加入しやすい制度の検討が必要。ヘルメットの着用については、条例制定、補助金交付などを実施する自治体も増えていく中で、まずは「着用の必要性」を広く周知していくことが必要。</p>
	<p>②-3 自転車安全利用の人材育成</p> <p>《事業概要》 自転車の安全利用を推進・啓発するため、自転車安全利用の人材育成に取組み、利用者のルール遵守、マナーの向上を目指します。</p> <p>《活動指標》自転車利用模範推進員の任命200人/年以上 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>父母世代への、3人乗り電動アシスト自転車の貸出しに先立ち、自転車安全講習会を開催し、自転車の安全利用、ヘルメット着用の重要性などを周知した。講習後には、自転車安全利用模範推進員に任命し、安全利用のPRに努めて頂いている。 平成28年度任命人数：72名（H29.2末現在）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p style="text-align: center;">各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》自転車利用模範推進員200名任命 《貢献目標》安全利用に対する、意識の高い人材を増やしていく事で、草の根的に利用者の意識が高まり、ルール遵守、マナーの向上に繋がる。</p> <p style="text-align: center;">事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>社会人世代への、交通安全に対する啓発をできる機会が少ないため、企業等と連携し、人材育成の推進をしていくことを検討する。また、学校での安全教育を補完する面からも、家庭及び地域での安全教育の推進方法を検討する。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-4 自転車安全利用に関する広報・啓発</p> <p>《事業概要》 自転車利用者の交通マナーの向上と自転車に関する交通事故防止を図るために、「街頭啓発活動」を関係機関と連携し実施します。「広告媒体によるルールへの周知・啓発」を行うほか、「ドライバーへの安全啓発」を検討します。</p> <p>《活動指標》 啓発活動の実施、1万3千人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施した。 また、10月には、さいたま新都心地区で「自転車マナーアップフェスタ」を開催し、家族での参加など、約2,300人の来場があった。</p>   	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 約20,300人 《貢献目標》 広報を充実させることで、徐々に安全利用の意識が高まり、ルール遵守、マナーの向上に繋がる。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>安全利用については、関心を抱くきっかけづくりが大事であるため、イベント内での周知や、日常での広報について、県警と連携しながら、効果的に実施をしていく。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>はしる</p> <p>①自転車通行環境の整備</p>	<p>①-1 自転車ネットワーク整備路線の整備</p> <p>《事業概要》 平成26年4月に策定した、さいたま市自転車ネットワーク整備計画に基づき、自転車交通量の多い路線や、自転車関連事故の多い路線などで、安全で安心な自転車通行環境の整備を実施します。</p> <p>《活動指標》平成35年度までに、約200kmを整備 《成果指標》自転車の走行改善、歩道走行台数3割増 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>平成28年度の取り組み</p> <p>○自転車ネットワーク整備路線の整備 自転車利用者の多い駅（北浦和駅、与野駅、宮原駅、岩槻駅など）周辺の路線において自転車通行環境整備を実施。</p> <p>○整備効果の検証 整備1年後の交通量調査を実施し、整備効果の検証を実施。（歩道走行台数の割合が約3割減少）</p> <p>○整備マニュアルの改定 H28.7に改定された「安全で快適な自転車利用創出ガイドライン」を受けて、本市の設計マニュアルを改定した。</p> 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》約66km（H29年度末予定） 《貢献目標》車道への自転車通行環境整備により、自転車の歩道内走行が減少するほか、自転車にとっても安全な走行空間が確保され、自転車利用の快適性、安全性の向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計時において、自転車の安全性の検討や交通管理者との協議に時間を要することから、計画目標に対して進捗の遅れが生じている。 一部路線において、車道側に自転車通行環境整備に必要な幅員が確保できないことから、自転車ネットワーク整備計画の見直しが必要である。
	<p>①-2 交差点等危険箇所の重点的な改善</p> <p>《事業概要》 交差点などのクルマとの交錯危険性が高い箇所、歩行者との事故が多い箇所、幅員が狭く交通量が多い区間など、危険箇所の点検・改善を実施します。</p> <p>《活動指標》交差点等危険箇所の対策メニューの作成 《成果指標》自転車事故減少に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>交差点では、自転車と自動車の事故率が高くなることから、設計マニュアルの中では、自転車走行がより明確となるよう検討を実施。</p>    <p>図 41 停止線の前出しの例（自転車専用通行帯の場合）</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》自転車通行環境空間について検討中 《貢献目標》交差点内での、自転車走行位置を明確にすることで、自動車ドライバーへの注意喚起が高まり、事故の減少に貢献する。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>幅員の狭い自転車通行環境帯での明示の仕方や、生活道路（裏道）などでの、自転車同士の事故防止について、検討が必要。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>はしる</p> <p>②公共交通機関との連携</p>	<p>②-1 公共交通結節点の環境整備</p> <p>《事業概要》 サイクル&バスライドの検討や、バス事業者やコミュニティバスと連携し、駐輪場やコミュニティサイクルの利用促進策を検討します。他、輸送時の自転車分解・組立スペース等、公共交通との連携可能性の検討を進めます。</p> <p>《活動指標》平成31年度から交通事業者との連携を実施 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>ハード面の取組は検討中であり、ソフト施策として以下を実施。 ・バス路線マップへサイクリングロードを掲載 ・北区コミュニティルートガイドへコミュニティサイクルのサイクルポートを掲載</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《貢献目標》—</p> <hr/> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>・自転車利用とバス利用の関連性については、ニーズを把握したうえで、効果的な施策の検証が必要。 ・鉄道を利用した、自転車利用者への優遇については、一般乗降者との兼ね合いが課題となる。</p>
			<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《貢献目標》—</p> <hr/> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>・サポート施設として、機能継続を図るためには、利用者、施設側双方へのメリットが感じられる仕掛けが必要。</p>
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-1 サイクルサポート施設の認定・設置</p> <p>《事業概要》 自転車ネットワーク路線やレクリエーションルート沿道中心に、トイレや休憩所などの「サイクルサポート施設」の設置を検討します。</p> <p>《活動指標》平成29年度までに、市内全域のサポート施設の開設 《成果指標》市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>・先進自治体へ、認定基準や運営方法に関する調査を実施。 ・調査結果より、さいたま市版認定基準案を作成。 ・荒川自転車道沿いの既存施設へ、事業への参画の意思を確認。</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《貢献目標》—</p> <hr/> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>・サポート施設として、機能継続を図るためには、利用者、施設側双方へのメリットが感じられる仕掛けが必要。</p>
		 	

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況																											
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-2</p> <p>電動アシスト付き自転車等の利用啓発</p> <p>《事業概要》 近距離での移動を車に頼りがちになってしまいう世代に対し、電動アシスト付自転車等の高機能な自転車の利用啓発を推進し、自転車利用の促進を行います。</p> <p>《活動指標》電動アシスト自転車貸出し（200台/年）の実施 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>平成27年10月より開始した、3人乗り電動アシスト自転車の貸出しについて、継続して実施。 同乗できる年齢制限により、返却された自転車を再貸出ししている。 H28年度新規貸出者：72名（H29.2末現在）</p>  <table border="1"> <caption>ババママ応募状況</caption> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>応募者数(人)</th> <th>貸出数(台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回(平成27年9月)</td> <td>240</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>第2回(平成28年2月)</td> <td>140</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>第3回(平成28年5月)</td> <td>121</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>第4回(平成28年7月)</td> <td>126</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>第5回(平成28年9月)</td> <td>134</td> <td>12.6</td> </tr> <tr> <td>第6回(平成28年11月)</td> <td>137</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>第7回(平成29年1月)</td> <td>106</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td>第8回(平成29年3月)</td> <td>17</td> <td>6.2</td> </tr> </tbody> </table>	回数	応募者数(人)	貸出数(台)	第1回(平成27年9月)	240	200	第2回(平成28年2月)	140	6.1	第3回(平成28年5月)	121	12	第4回(平成28年7月)	126	10.1	第5回(平成28年9月)	134	12.6	第6回(平成28年11月)	137	13.4	第7回(平成29年1月)	106	8.1	第8回(平成29年3月)	17	6.2	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》貸出し200台/年の実施 《貢献目標》負担の少ない電動アシスト自転車の貸出しにより、自動車利用から自転車利用に転換した方も多く、自転車利用者の増加に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>平成29年度末で、現在のリース契約は終了となるため、継続するためには、事業の効果検証を行い、平成30年度以降の予算確保が必要となる。 また、利用希望者も多いことから、公平な貸出し等の手法についても、併せて検討が必要。</p>
	回数	応募者数(人)	貸出数(台)																											
第1回(平成27年9月)	240	200																												
第2回(平成28年2月)	140	6.1																												
第3回(平成28年5月)	121	12																												
第4回(平成28年7月)	126	10.1																												
第5回(平成28年9月)	134	12.6																												
第6回(平成28年11月)	137	13.4																												
第7回(平成29年1月)	106	8.1																												
第8回(平成29年3月)	17	6.2																												
<p>③-3</p> <p>自転車利用促進事業者認定制度の導入</p> <p>《事業概要》 環境問題や、健康増進の面から、自転車利用を推進している事業者に対し、事業者単位での取組が推進されるよう、認定制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>埼玉県警察では、平成28年度より、「サイクルマナーアップ&セーフティ推進企業」の指定が行われており、現在県内の事業者18社が指定されている。 さいたま市内の事業者も、複数指定されており、これらの事業との連携方策について、検討中。</p> 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《貢献目標》—</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業のCSRの取組の一環として、自転車安全利用への関心が持てるよう、周知啓発が必要。 また、市役所も、一団体として、職員への意識啓発、自転車利用の推進について、モデルケースとなるよう取り組んでいくことが必要。 																												

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-4 自転車利用優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 健康増進や環境負荷軽減として、市民の自転車利用促進・啓発のために、自転車をより多く利用した方を優遇する制度の導入や、健康マイレージ制度との連携などを検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度までに導 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>浦和美園地区のまちづくりの一環として、700人のモニターを対象とした、「美園サイクリング&ウォーキング」が健康プログラムの実証実験として、実施された。 健康機器メーカーのタニタと、総合小売り大手のイオンの協力により、健康ポイントとして、歩数換算のうえ、ICカード型電子マネー「WAON（ワオン）」ポイントに交換できる。</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 検討段階 《貢献目標》 -</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>・さいたま市では、平成28年度よりウォーキング版の健康マイレージを実施しており、その事業の効果検証や課題を考慮し、自転車での健康マイレージの導入について、検討予定。</p>
	<p>③-5 新たな自転車車両の普及・研究</p> <p>《事業概要》 タンデム自転車の公道での走行の検討や、環境負荷軽減に資する低炭素型パーソナルビリティ「電動二輪モビリティ」などに関する研究開発を行います。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度から活用を実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>低炭素型パーソナルモビリティの安全性向上を図る2輪転倒防止システムの研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月 スマートコミュニティJapan2016にて、試作機展示 平成29年3月 実験機製作、芝浦工業大学産学官連携研究交流会で発表予定 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 検討段階 《貢献目標》 -</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>2輪転倒防止システムの実用化にあたり、小型軽量化、省エネ化を今後の課題としている。これらを実現できる技術を持つ制作協力企業の探索を要する。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-1 駐輪場の適正配置の推進</p> <p>《事業概要》 鉄道駅への自転車通勤・通学者の利便向上のために、駐輪場の適正配置を推進します。主要駅周辺の駅へ向かう動線上への配置など、利用しやすい駐輪場の配置を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度から適正配置計画の推進 《成果指標》放置自転車数 1割/年削減 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>駅周辺の駐輪場について、各駅毎の将来需要台数を設定したうえで、方向別の需要台数と、供給台数を比較し、利用しやすい駐輪場の配置となっているかなどの課題を整理し、今後の対応方策についての、検討を行った。</p> 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《成果指標》— 《貢献目標》—</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>本年度の調査を踏まえ、課題となるエリアにおける駐輪場の整備促進に向け、民間活力のさらなる活用や、公共用地の活用など、利用しやすい新たな駐輪場整備のあり方を検討する。</p>
	<p>①-2 民間事業者による駐輪場整備の支援</p> <p>《事業概要》 一定要件を満たす民営駐輪場の新設等について、その設置者に対して整備費用の一部を補助するなど、民間事業者への支援を行います。</p> <p>《活動指標》民営駐輪場の新設2箇所、300台/年以上 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 	<ul style="list-style-type: none"> •平成28年8月 北浦和駅 77台収容 •平成28年10月 岩槻駅東口 294台収容 	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》新設2箇所、371台/年増設 《貢献目標》新たな駐輪場の整備により、放置自転車対策に繋がるほか、駐輪場利用者の利便性向上に繋がり、快適性の向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> •補助金交付対象の駐輪場を、放置自転車や撤去自転車の多い駅周辺への絞り込み •買い物等の短時間駐輪の需要に応えるため、小規模な駐輪場に対応した補助金要綱の見直し

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p>とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-3 駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進</p> <p>《事業概要》 「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づき、駐輪需要を生じさせる集客施設や商業施設への駐輪場の附置を推進します。</p> <p>《活動指標》 附置義務条例等に応じた駐輪場の確保 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性</p>	<p>平成28年度の取り組み</p> <p>「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づく届出（西区を除く）</p> <p>届出件数：5件 設置台数：192台 建築物の主な用途：小売店、結婚式場</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 施設用途に応じた駐輪場の確保 《貢献目標》 集客施設における、適正な駐輪場の整備により、利用者の利便性向上に繋がっており、快適性の向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>条例対象外の、小規模店舗などの集客施設においても、駐輪需要はあるため、それらの施設建設時における放置自転車対策に対する意識づけや、条例の見直しについて、検討が必要。</p>
	<p>①-4 駐輪優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 駐輪場利用者への店舗での割引特典の付与等、買い物客などの積極的な駐輪場利用につながる優遇制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度までに導 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性</p>	<p>調査・検討中</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 検討段階 《貢献目標》 -</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>・自転車利用による優遇制度と併せた、検討が必要。</p>

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-5 駐輪場の情報発信の充実</p> <p>《事業概要》 市内各駅の駐輪場の情報を様々な媒体により提供し、利用案内の充実を推進します。また、近隣の商業施設等と連携した、周辺施設案内へのリンク等の付加情報の提供など、更なる情報発信の充実を推進します。</p> <p>《活動指標》案内システムのアクセス 1万4千件/月以上 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>市営駐輪場について、WEBでの情報発信を実施した。 自転車等駐車場案内ページアクセス数については、約16,000件/月となっている。</p>	<p style="text-align: center;">各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》アクセス約16,000件/月 《貢献目標》WEBでの情報発信により、利用者への情報提供の満足度に貢献した。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のWEB上での情報発信は、市営駐輪場の場所及び、利用料金が主であり、民間駐輪場と併せた情報の発信が理想。 ・また、空き状況などが発信ができれば、さらに効果的な情報となるが、施設ごとに整備・運営体系が異なるため、官民連携の情報発信には課題が残る。
	<p>①-6 利用者サービスの充実</p> <p>《事業概要》 スポーツバイク等、多様な車両への駐輪への対応を、施設特性に応じて市営施設の改修等により実施します。</p> <p>《活動指標》全市営駐輪場での付加サービス機能の向上 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>ソフト施策としては、市営駐輪場における、電動空気入れの設置、雨天時のタオル貸出、係員による2段ラック入庫・出庫時におけるアシスト等が行われている。</p>	<p style="text-align: center;">各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》検討段階 《貢献目標》—</p> <hr/> <p style="text-align: center;">事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度により、駐輪以外の事業（雨具の販売、コインロッカーの設置等）は、行えないこととなっており、利用者負担を伴う、新たなサービスを行うためには、条例改正が必要。

進捗管理シート【取組結果】

事業	方策及び指標	平成28年度の取り組み	事業進捗状況												
<p>とめる</p> <p>②放置自転車の解消</p>	<p>②-1 放置自転車対策（指導・撤去・啓発）の強化</p> <p>《事業概要》 公共の場所における放置自転車等の対策として、放置自転車等監視・撤去業務を実施します。関係機関と連携して、放置自転車が多い大宮駅周辺等で、自転車放置禁止区域において「放置自転車警告書添付活動」を実施します。</p> <p>《活動指標》 放置自転車台数調査毎年実施 《成果指標》 放置自転車撤去数1割減/年 《貢献目標》 □快適性 □ルール・マナー □市の取組</p>	<p>（放置自転車監視） ・市内各駅周辺の自転車等放置禁止区域に原則、平日の午前8時から午後2時まで、監視員を配置。 ・注意喚起、駐輪場への案内・誘導 ・放置自転車への撤去の警告札の取付け等</p> <p>（放置自転車撤去） ・午前9時以降、駅周辺を巡回し、車載放送で撤去の案内を広報 ・順次、警告札が付いた自転車を撤去 ・保管所へ移送し、防犯番号、車体番号等を自転車管理システムに入力。</p> <p>撤去台数の推移</p> <table border="1" data-bbox="987 730 1563 802"> <thead> <tr> <th>H23年</th> <th>H24年</th> <th>H25年</th> <th>H26年</th> <th>H27年</th> <th>H28年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,700</td> <td>26,891</td> <td>20,350</td> <td>17,496</td> <td>13,671</td> <td>11,017</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">*2月末</p>	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	29,700	26,891	20,350	17,496	13,671	11,017	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 放置自転車台数調査の実施 《成果指標》 撤去台数11,017台（2月末） *前年比約12%減 《貢献目標》 放置自転車の減少により、適正な歩行者空間の確保、まちなみの景観向上に繋がり、快適性の向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>・駐輪場の整備促進や、利用者のモラルの向上もあり、放置・撤去台数ともに年々減っているが、夕方以降の時間帯は、放置自転車が增多する傾向にあり、その対策が必要。</p>
	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年									
29,700	26,891	20,350	17,496	13,671	11,017										
<p>②-2 放置自転車の活用</p> <p>《事業概要》 放置自転車として撤去された、引き取り手のない自転車について、リサイクル整備による市民向けの販売や、開発途上国へ譲与する、国際貢献事業を実施します。</p> <p>《活動指標》 開発途上国への120台/年の譲与 《成果指標》 市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 □市の取組</p>	<p>平成元年に、引取り手のない自転車の有効利用策として、再生自転車を開発途上国の母子保健活動の交通手段に活用してもらう目的で、「再生自転車海外譲与自治体連絡会・通称ムコーバ」が設立された。 今年度は、さいたま市より、140台の譲与を行った。</p>	<p>各指標の達成状況</p> <p>《活動指標》 検討段階 《成果指標》 開発途上国への140台/年の譲与 《貢献目標》 開発途上国の支援として、市の自転車のまちづくりに対する取組の向上に貢献した。</p> <p>事業の課題と、次年度以降の方向性</p> <p>次年度についても、撤去自転車の有効活用として、継続した譲与を予定。</p>													